平成 24 年 10 月 9 日

各　　位

会 社 名　株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
代表者名　代表取締役社長　藤井　修逸
（コード番号　６６６８　東証マザーズ）
問合せ先　取締役 総務・経理部長　中山　浩之
（ＴＥＬ．０８４－９４５－１３５９）

業績予想の修正及び次期の見通しに関するお知らせ

最近の業況動向を踏まえ、平成 23 年 10 月 14 日に公表した平成 24 年８月期通期の業績予想を下記のとおり修正するとともに、あわせて次期（平成 25 年８月期）の業績の見通しについて、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（１）平成 24 年８月期通期　連結業績予想数値の修正(平成 23 年９月１日～平成 24 年８月 31 日)

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	4,082	124	42	△29	△3,433 円 71 銭
今回発表予想（B）	4,511	110	82	3	350 円 49 銭
増　減　額（B―A）	429	△14	40	32	―
増　減　率（%）	10.5%	△11.3%	95.2%	―	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年８月期）	5,283	536	468	364	42,457 円 62 銭

（２）修正の理由

当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業におきましては、スマートフォンやタブレットＰＣなどのモバイル機器の需要は好調に推移したものの、液晶テレビの需要低迷等により、各関連メーカーでは設備投資の抑制及び延期の動きが見受けられました。

このような事業環境の中、当社の主要製品である高周波電源の市場シェア拡大に重点を置き、新規顧客開拓のための営業活動を実施したものの、売上高は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷、また海外売上の増加等により、売上高は堅調に推移いたしました。

利益面におきましては、競業他社との価格競争及び顧客からの製品値下げ要求も厳しい環境の中、海外生産や海外からの材料調達によるコスト削減に取り組みました。

この結果、連結グループの売上高は 4,511 百万円、営業利益 110 百万円、経常利益 82 百万円、当期純利益 3 百万円を見込んでおります。

２．次期（平成 25 年８月期）の見通し

今後の景気の見通しにつきましては、モバイル機器の需要は堅調に推移すると見込んでおりますが、薄型テレビなどの長期的な需要低迷を背景に設備投資計画の大幅な抑制及び延期が各関連メーカーより発表されており、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと見込んでおります。

半導体・液晶関連事業におきましては、高周波電源及びマッチングユニットの価格競争力アップのため、平成 23 年に設立した海外子会社（ベトナム・韓国）における量産体制の整備を進めてまいります。

研究機関・大学関連事業におきましては、研究機関の大型プロジェクトの受注獲得を目指すとともに、新市場開拓のための製品開発を進め、海外からの材料調達に取り組むことにより、収益力の強化に努めてまいります。

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
第２四半期（累計）	1,556	△120	△116	△113	△13,167 円 99 銭
通期	3,409	△170	△162	△156	△18,263 円 16 銭

（注）上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以　上